

北に育つ

北海道稚内養護学校
学校便り
平成30年3月9日発行
第8号
発行者 首藤 啓美子



卒業によせて

北海道稚内養護学校長 首藤 啓美子

中学部2名、高等部7名のみなさん、卒業おめでとうございます。

卒業を迎えたみなさんは、学校生活の楽しかったこと、頑張ったこと、悲しかったこと、たくさんのお話を思い出しているのではないのでしょうか。

みなさんは、これまでに多くの体験をし、大きく成長し、たくましくなりました。

みなさんの成長を一番近くで見守ってくれたお父さん、お母さん、家族の方々、そして地域のみなさんに「ありがとう」の気持ちを忘れずにいてください。

中学部を卒業するみなさん、4月からは高校生です。学校生活の最後の3年間が始まります。ちょっとだけ大人に近づいた分、ちょっぴり自立（自律）に挑戦してみましょう。楽しいけれど頑張るも必要な高校生活が待っています。

高等部を卒業するみなさんは、4月からは社会人です。学校を離れ、それぞれの地域での生活が始まります。これまでの生活にはない新しい出会いや体験が待っています。新しい環境に早くなれ、自分らしく、豊かな楽しい生活を送ってほしいと願っています。

保護者の皆様、お子様のご卒業、本当におめでとうございます。お子様が明るく元気に成長することを願い、温かく見守り支えてこられましたことに、深く敬意を表します。

今年は、冬季オリンピック、パラリンピック開催の年です。ご家族でテレビの前で声援を送られたご家庭も多かったのではないのでしょうか。17日間に渡った各種の競技ですが、試合が終わった後に見せる選手たちの表情はみんな、「やりきった」喜び、悔しい顔の中に見せる「次は必ず」など「また歩きたそうとしている」ように見えました。どの選手の顔も「これまでの努力や苦労」を物語っています。選手一人一人に4年間、8年間、それ以上の努力し続けた道があったのだと思います。「歩み続けたからこそ、今日の感動がある」と教えてくれているような気がしました。卒業生のみなさんがこれから歩んで行く道がすべてみなさんの人生、たった一つの物語をみなさん自身が歩んで行きます。どうか困難に負けず、自分らしく歩み続けてください。そして、一人一人のステキな感動を、物語を作ってください。

卒業生のみなさん一人一人の未来が自分らしく豊かに輝くことを、心から願っています。

今年度も保護者の皆様、地域の皆様に支えられた稚内養護学校の1年でした。本当にありがとうございました。



卒業学級 担任より

中学部3年担任 市川 奈津美

翔琉君、晴斗君、中学部ご卒業おめでとうございます！！

出会いは今から3年前……。時が経つのは早いものですね。私とほぼ同じくらいの背丈だった翔琉君はいつの間にか私を追い越し、あどけない顔をしていた晴斗君はすっかり大人っぽくなり、心も身体も大きく成長しました。

2人とは、今年度になってからたくさん思い出深い日々を過ごしてきました。思い出はたくさんありますが、毎日、何気ないことで笑い合った日々が一番楽しかったな……。と今はしみじみ思います。

4月からはいよいよ高校生ですね。2人が卒業してしまうのは寂しいですが、明るく元気にいろいろなことに挑戦し続けてください。

頑張れ！翔琉君！晴斗君！



高等部3年担任 林 志保

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

去年出会ったばかりのみなさんが、気づけば卒業を迎えることに驚いています。振り返ると、みなさんとともに過ごした日々は、私にとっても勉強になることがたくさんありました。日々、成長していく姿に寄り添うことができたこと、一生忘れません！

これから、社会へ羽ばたいていく3年生のみなさん。もし、どうしても辛くなったときは、友達や先生方と一緒に乗り越えてきた日々を思い出して下さい。きっと、みなさんの力になります！

朋子さん、歩美さん、紗羽さん、朱さん、悠香さん、広市くん、来珠くん卒業おめでとう！



高等部3年担任 藤岡 康弘

高等部入学から3年の月日が流れました。この度は、ご卒業おめでとうございます。不安な気持ちを抱きながらも、稚内養護学校高等部へ入学し、自分を高めるために努力し続けた日々を通し、みんな大きく成長しましたね。たくさんの忘れられない思い出を胸に、これから別々の道に進みます。今後、苦しいこともあるでしょう。投げ出したくなることもあるでしょう。そんな時は、「仲間」もどこかで一生懸命頑張っていることを思い出して下さい。決して一人ではないこと。これからも思い出をたくさん作り、新しい「仲間」と頑張ってください。卒業おめでとう。

